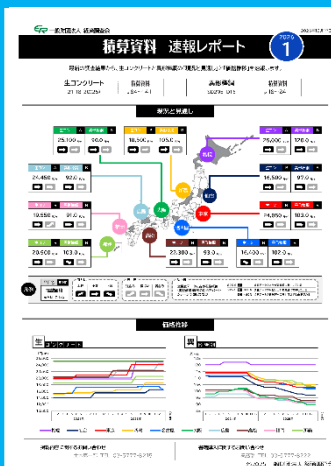


【おそれ情報資料】 資材価格速報と最新の労務需給の調査結果を公表します

一般財団法人経済調査会は、改正建設業法で工事受注者による「おそれ情報」の契約前の通知が義務化されたことを踏まえ、関係資料を提供している「おそれ情報特設サイト」において、資材価格動向の速報と最新の労務需給の調査結果を、以下の通り公表いたしました。このたびの資料により、生コンクリートと異形棒鋼の価格動向や、各種工事の労務需給などの最新情報をご確認いただけます。

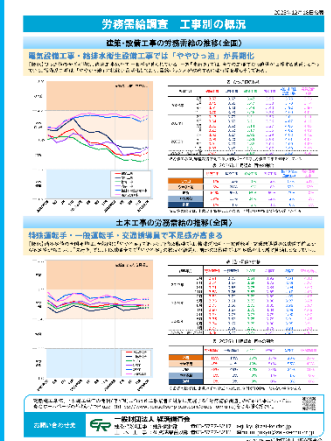
今回の公表内容



I. 積算資料速報レポート【公開日：12月17日】

積算資料1月号（12月19日発売）の調査結果に基づき、生コンクリートと異形棒鋼の最新の「現況と見通し」および「価格推移」を速報するレポートを「おそれ情報特設サイト」にて12月17日に公開いたしました。

【概況】1月号(12月調査)における主要10都市の生コンクリート市況は名古屋で下落となった。出荷量減少を背景とした販売側の価格競争によるもの。その他の都市では堅調な市況推移が続いており、先行きも福岡が強含みの見通し。一方、異形棒鋼は那覇で下落。全国的に主原料の鉄スクラップ価格は上昇しているものの、実需が低迷しており価格転嫁は厳しい状況。先行きも横ばい推移の見通し。



II. 労務需給調査【公開日：12月18日】

2025年11月の調査結果に基づき「建築・設備工事」と「土木工事」の最新の労務需給の状況を12月18日に公開いたしました。「おそれ情報特設サイト」においては調査結果の概要をとりまとめたサマリー版も公開しております。

【概況】建築・設備工事のひっ迫値は、特に設備系工事で「ややひっ迫」の状態が高い水準で続いており、ひっ迫傾向が長期化している。先行きもひっ迫値は上昇する見通しで、需給バランスの改善には時間を要しそう。一方、土木工事は全般的に「やや不足」で推移。特に特殊運転手、一般運転手、交通誘導員は不足感が強まっており、先行きも、当該3職種は現状より不足感が増す見通し。

おそれ情報特設サイトを随時更新しています

今回の資料公表は、主要な「資機材」や特定工種の「労務」に関する価格高騰や供給不足・遅延といった「おそれ情報」に関する情報提供の取組みの一環として実施いたしました。当会の「おそれ情報特設サイト」では、今回公表した上記資料のほか、「積算資料 建設資材価格指数」や「災害復旧資材情報」などの資料もダウンロードすることができます。ぜひ、ご確認いただき、最新の情報をお役立てください。

【おそれ情報特設サイト URL】

<https://www.zai-keicho.or.jp/service/build/riskinfomaiton/>



おそれ情報特設サイトに関するお問い合わせ先



一般財団法人 経済調査会

業務部：おそれ情報担当 ☎ 03-5777-8222 ✉ riskinfo@zai-keicho.or.jp